

菊の会だより

Kikunokai

「心を踊る」

菊の会は古典舞踊の
研鑽に励み
明日の新しい舞台芸術の創造に
情熱を燃やしています

[発行]
舞踊集団 菊の会
代表 畑 道代
〒161 東京都新宿区西落合2-21-23
電話 03-5983-6001(代)



舞踊劇「阿国かぶき」

創立二十四年目を迎え 心から感謝

舞踊集団 菊の会

代表 畑 道代

紫陽花の花がいちだんと美しい季節となりました。皆様にはおかわりもなくお健やかに過ごすの御事と存じます。
今年には戦後五十年を迎え、新たな局面に立たされた試練の時といわれています。
菊の会も今年、創立二十四年目を迎えました。この間、大きな時代の変化を肌で感じながら今日に至りました。そして、この舞踊の道も、今ようやく一つのジャンル

として、社会に認めて頂ける日がそう遠くはないと思える様になりました。
これも偏に、御支援、御指導下さいます皆様のお蔭と厚く御礼申し上げます。
まだまだ未熟な菊の会ですが、それぞれの立場で責任をもって進もうという気概が見えて来た今日この頃です。
どうか今後共、更なる御指導、御鞭撻を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

拍手をこめて

財団法人 松尾芸能振興財団

理事長 松尾日出子



める事は出来ません。
「菊の会」の皆さんが今日一人前の舞踊家として成長され、一線で活躍していられる事は、同じ道を進む人々に大きな夢と希望を与えていると思います。
日本舞踊の基礎をしっかりと踏まえ、新しい分野へも挑戦を怠らぬ畑代表と会の皆さんの熱意に大きな拍手を送ります。

その華やきにも勝る「菊の会」の皆さんの踊りのみごとさには感じ入っております。
「菊の会」と私の出会いは平成五年春、私共の「松尾芸能振興財団」の「松尾芸能賞特別賞」を受賞なさった時で、その踊りの確かさに感嘆致しました。
二十三年と一口に云いまして、その間、一步一步習練を重ね今日この素晴らしい「菊の会」に育てあげられました畑代表の御苦労には唯々頭の下る思いでございます。時運に乗って物事を始める事は出来ても、それを永きにわたり継続してゆく事のむずかしさ、一時たりとも気を緩



平成五年三月二十九日 第十四回松尾芸能賞授賞式

燃えよ日本列島

三隅治雄 作 / 栗林克年 演出 / 畑 道代 構成・振付

前回は三月に行われた「燃えよ日本列島」が大変感動を呼びました。好評につき、左記の通り再演される事になりました。

内容は、菊の会が取材した郷土芸能の中から代表的なものを選んでお贈りいたしました。盛り沢山の舞踊集にご好評を頂きました。第一部は、九州北部から中部の民謡、郷土芸能を中心に楽しい北と南の踊りくらべ。

第二部は、貧しい山村に生まれた薄幸の少女おてもが、やがて人の心の温もりを知って幸せになっていくという物語を、各地の唄や踊りでつづります。

前回御覧にならなかった方は、是非、お越し下さいます様お待ちしております。

時/六月二十八日(水)
二時・六時半開演



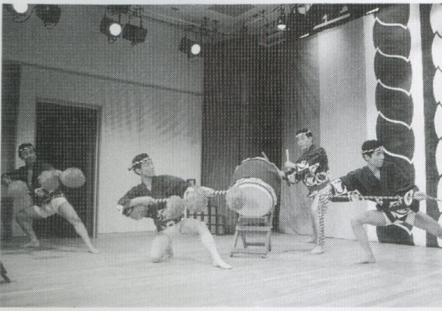
「関の鯛つり唄」



「おてもの嫁入り」

二十九日(木)
二時・六時半開演
三十日(金)
二時・六時半開演
七月一日(土)
一時・五時開演
二日(日)
一時・五時開演

所/菊の会スタジオ
入場料金/二、八〇〇円



「鯉太鼓」

中杉子供教室が開講!

四月八日、中杉子供教室が開講した。

三才から十五才までの生徒十七人の小さい教室ながら、幼くてもやる気充分の生徒達で大人顔負けの熱気が感じられた。

最初に、教室責任者の宮原奈津子さんから開講の経過報告と挨拶。そして、副責任者の岩崎恵子さん郡山美江子さんの紹介があり、次に子供達、一人一人の自己紹介が行われた。

つづいて担当講師の武井則男さん、武藤啓子さんが挨拶。八王子子供教室の責任者藤林和子さんより、暖かい恵まれた環境で育っていき事への感謝と子供達にお祝いの言葉をよせ、次いで宮原責任者に花束の贈呈が行われた。

公演メンバーの先輩からの言葉として、枝木茂さん、土屋明日香さんは、自分達の幼かった頃から今日までの苦しかったことや楽しかった思い出を話し、休まず辞めずに続けて行ってほしいとの思いを語った。

友の会役員の染谷善七氏から幼い生徒さん達に、最大の祝福と激励の御祝辞を頂いた。

菊の会創立記念日を祝う

創立二十四年目(二十三周年)の四月一日は丁度アトリエ公演中で、菊の会Cスタジオに於いて、夜の部終了後の熱気さめやらぬ七時過ぎから記念祝賀会が行われた。

最後に、畑代表から「今日から始まったこの教室のメンバーが、どの様に基本を学び楽しんで続けていってくださるか興味深いと期待。勉強が厳しくなる年齢まで、いかに踊りを身につけるか、又、大



さいメンバーに関しては、素直に基本に忠実に自分の体を鍛えてほしい」との話があった。
その後、菊の会の今日までのビデオを全員で見、記念撮影を充実した開講式を終えた。

公演・行事のお知らせ

- 6/28(水) 6/30(金)
2時開演・6時半開演
7/1(土) 7/2(日)
1時開演・5時開演
アトリエ公演
「燃えよ日本列島」
菊の会スタジオ
● 7/30(日)
1時半開演
第21回教室発表会
江戸川区総合文化センター
菊の会舞踊教室の、日頃の研鑽の成果を発表する場として、毎年一度行われます。
● 8/9(水)
7時開演
8/10(木)
1時・5時開演
舞踊劇「阿国かぶき」
京都 南座(四條)
● 9/16(土)
芳村伊四郎会
銀座ガスホール
「花折時」
- 10/10(木)
「燃えよ日本列島」
会津風雅堂
● 11/30(木) (予定)
12/1(金) (予定)
日野市民会館
12/4(月) (予定)
江戸川区総合文化センター
12/5(火) (予定)
越谷コミュニティセンター
12/6(水) (予定)
ルネこだいら
12/11(月) (予定)
なかのZERO
ホール
12/13(水) (予定)
和光市民文化センター
菊の会自主公演
舞踊劇「馬車道の人々」
● 12/18(月)
創作舞踊展

友の会会員募集

伝統文化を大切に、明日の新しい舞台芸術の創造に情熱を燃やす菊の会の幅広い活動を支援するのが友の会です。
新世紀を担う舞踊家の育成、新しい時代の作品創り、そして諸外国との文化交流を旨とする菊の会を育てる為に、皆さんの御支援をお願いします。
一般会員、年一口一万円
法人会員、年一口五万円
詳しくは友の会事務局へ。
TEL (03)5983-6001

宝ひとみ南京コンサートに出演!

3月21日(火) 南京市人民大会堂



音楽プロデューサー
代表取締役 **山田廣作**
(株)ストーンヘッド

畑先生とお会いしたのはちょうど十年前、「無錫旅情」の発表会を中国で行うためにテレビ東京の吉川プロデューサーに出演をお願いしたのが御縁でした。

私にとって中国との縁は、一九

八〇年のゴダイゴの北京・天津での公演が最初でした。それ以来、中国には不思議な魅力を感じ、チャンスがある度に旅をしたり、交流をしてきました。

戦後五十年目という区切りの年である今年三月二十二日、南京市人民大会堂に於いて、歌手、宝ひとみの「南京へ来れ」のコンサート

トを実現し大成功を収めました。これはひとえに、畑先生の御協力のおかげです。本当にありがとうございました。

私が企画する海外公演の場合、勝手乍らいつも基本になるのが菊の会です。なぜならば外国は(経済的な意味ではなく先進国、発展途上国を問わず)文化芸術に於いては、大変すぐれています。そういった国々に於いて文化交流を行う場合、自信を持って紹介出来るのが菊の会の芸術性、人間性だからです。歌い手の場合は色々ありますが、これからは前向きに海外(特に中国)との文化交流を進めて行きたいと思っておりますので、尊敬する畑先生はじめ、菊の会の皆さん御協力の程、よろしくネ。

爽やかな心で25周年へ新たな出発を!

好評を博した創作舞踊劇「阿国かぶき」を京都南座で上演!

三隅治雄作・演出の創作舞踊劇「阿国かぶき」は、菊の会にとつて、この二十三年間の歩みの中で最も大作であり、エポックとなったものです。

昨年、菊の会で初演されて好評を博しましたが、そのおり、いつの日か阿国ゆかりの京都南座で公演したい、との思いが強く菊の会の中に生まれました。

それが、こんなに早く実現するとは思ってもみなかった事で、此の度は、名古屋山三役に歌舞伎俳優の嵐徳三郎氏の特別出演も決まるとどめています。

又、畑代表が初舞台を踏んだ劇場で待望の「阿国かぶき」が公演される事は、大変素晴らしい事で、是非菊の会を御支援頂き、大勢の方々にお越し頂きたいと心から願っています。

八月九日(水)七時開演
十日(木)一時開演
十日(木)五時開演

所/京都南座(四條)
入場料金/特別席 八、五〇〇円
一等席 七、〇〇〇円
二等席A 六、〇〇〇円
二等席B 五、五〇〇円
三等席 五、〇〇〇円



舞踊劇「阿国かぶき」第七景夢幻や南無三寶



舞踊劇「阿国かぶき」

第十四回友の会総会

吉例の友の会総会並びに、懇親会が四月三十日(日)午後三時より東京會館ロビーホールで行われた。

総会は、長谷川幹事の司会で進められ、最初に、神谷会長が挨拶。

この一年、友の会の皆さんの御協力にて、〇〇〇名の友の会会員拡大を達成出来た事をねぎらい、益々の発展を訴えた。次に、畑代表の挨拶と続き、議事進行は、平成七年度運営方針を染谷幹事、平成六年度会計報告を藤林幹事、監査報告を中野幹事、そして、最後に平成六年度菊の会及び、友の会行事報告を事務局の鶴岡泰重が行い懇親会に移った。

懇親会は、心なごませる荒川わたる氏の司会で行われた。

はじめに、友の会役員代表挨拶を明和印刷(株)代表取締役会長白井良治氏が行い、御支援くださった方々への御礼と菊の会の益々の発展を期待の言葉を述べた。

次いで、アルプス歯科院長の寺



「総踊り」

快気後間もない中、駆けつけて下さった山一不動産代表取締役社長の高山副会長に乾杯の音頭をとって頂いた。

アトラクションでは、先日の京都での「獅子の舞」を男性四人が披露、次に大和楽「花売り」「しだれ桜」「芍薬」「白菊」「総踊り」を天舞、ひまわりのメンバー七人が華麗に又、ダイナミックに日本の美を心ゆくまで踊った。

景品抽選会は、今年も大きな盛り上がりの中で行われた。

最後に畑代表は、「この厳しい社会情勢の中で、いつも変わらず御支援を頂けて下さり、今日又、



舞踊評論家 西形節子

遠く地方からも熱い思いでかけて下さった七二〇人の方々、この様に総会が開催出来た事に対し、心から感謝を申し上げます。今後、益々心を合わせて芸道に精進し、皆様へお応えして参ります」と締めくくった。

昨年、活動の発信地となる菊の会のお城を造られ、私も素晴らしいなと思っていた一人でございます。生きていく心とからだ表現する舞踊、どこの国でも舞踊は民族の誇りであり国の文化を代表します

NHK「どんとこい民謡」に出演!

日本の民謡を紹介し、みんな楽しく作るNHK番組「どんとこい民謡」が四月二十三日に放映された。

峰竜太、長山洋子の司会、そして、大野実佐子のアシスタントで、始まり、唄は大塚文雄、金沢明子

熊谷一夫、踊りは、八戸市の石川流民謡舞踊会のメンバーと菊の会、石川流の方々には「津軽あいや節」を、菊の会は、快調の大塚文雄の唄にのって「大漁唄い込み」を舞台狭しと踊り込んだ。



「日本アカデミー賞授賞式」で「獅子の舞」を勇壮に踊る!

平安建都二二〇〇年を記念して国立京都国際会館で、第十八回日本アカデミー賞授賞式が行われた。第一部では、脚本・美術・照明・撮影・録音・編集・音楽等の各部門の授賞式。そして、第二部の映画出演者の各授賞式のオープニングを飾る舞台上、菊の会が登場。

レナード衛藤氏のダイナミックな大太鼓と現代音楽、そして、レーザービームが場内を駆け巡るなか、畑代表の振付による「獅子の舞」を勇壮に乱舞し、好評を博しました。

平安建都二二〇〇年を記念して国立京都国際会館で、第十八回日本アカデミー賞授賞式が行われた。第一部では、脚本・美術・照明・撮影・録音・編集・音楽等の各部門の授賞式。そして、第二部の映画出演者の各授賞式のオープニングを飾る舞台上、菊の会が登場。

レナード衛藤氏のダイナミックな大太鼓と現代音楽、そして、レーザービームが場内を駆け巡るなか、畑代表の振付による「獅子の舞」を勇壮に乱舞し、好評を博しました。



出合いというのは不思議なものだ。緑あつて「阿国かぶき」の公演を拝見致しました。その素晴らしい舞台上に段々引き込まれ、非常に大きな心の広がりを感じ、その姿の中に私は人間の生き方というものの素晴らしさを、あの劇の中で踊りの中で、菊の会の皆さん方が演じる動きの中で深く感じさせて頂きました。

二十世紀は物質文明の世紀でございましたが、二十一世紀は心の世紀だと言われています。その心の支えがまさに、それぞれの国の持っている伝統的な芸術であり、文化である。それを継承し新しく引き継いでいく人達の育成こそ、望まれるところであると思っております。

畑先生が、日本が一番苦難の時を乗り越えて、一人で踊りを始められ、その踊りが若い人達に受け継がれ、これだけ多くの人々に感動を与え、そして、今まさに草の根の様に全国に広がりは始めている姿を見せて頂いて本当に感激しています。

菊の会の皆さんの舞台はどんなに主役であっても、どなたがそれを助ける立場であっても一緒に生きてシナリオをしゃべっている。人生とはシナリオの無いドラマであると言いますが、そのシナリオの無いドラマの中にある人間と人間の出合いが醸し出す、素晴らしい人生劇こそ私は得たい。我々の宝物かと思っております。

今日の素敵な出合いを胸に、今日の会を記念し、菊の会が日本の津々浦々に広がっていくと同時に、その心が世界の二十一世紀の心の広がりへの支えになることを祈ります。お祝いのご挨拶とさせていただきます。



アルプス歯科院長 日本歯科審美学会副会長 日本歯科東洋医学会副会長 寺川國秀